

京都学園大学健康医療学部研究会会則

(名称・事務所)

第 1 条 本会は、京都学園大学健康医療学部研究会と称し、事務所を京都学園大学健康医療学部内におく。

(目 的)

第 2 条 本会は、学術の研究に資し、併せて会員相互の研鑽を図ることを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 京都学園大学健康医療学部紀要、その他の刊行物の編集・発行
- 2 研究会および講演会の開催
- 3 その他総会において適当と認めた事業

(組 織)

第 4 条 本会は、次の者をもって組織する。

- 1 正 会 員 本学健康医療学部 に所属する専任教員
- 2 特別会員 総会において適当と認めた者

(機関・役員)

第 5 条 本会の事業を遂行するために次の機関および役員をおく。

- 1 会長
会長は、本学健康医療学部長を当てる。
会長は、本会の会務を統括する。
- 2 総会
総会は、正会員で構成し、本会の事業計画その他の重要事項を審議する。議事は、出席会員の過半数で議決する。
- 3 運営委員
運営委員は各学科より会長により選任される。
運営委員は、紀要の編集、庶務および会計、その他、本会の諸事業の実施に当たる。なお、紀要の編集においては、運営委員は各学科より編集委員を任命することができる。また、第 3 条 2 項の遂行においては、運営委員は各学科より実行委員を任命することができる。
- 4 会計監査委員
正会員中より 1 名、事務担当者より 1 名、計 2 名を選任する。
会計監査委員は、本会の会計を監査し、総会に報告する。

(会員の任期)

第 6 条 前条の各委員は総会において選出し、その任期は 1 年とする。運営委員は重任を妨げない。ただし、運営委員のうち会計担当の任期は 2 年を限度とする。

(経 費)

第 7 条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもってこれに当てる。

会員は、次の区分に従い会費を納めることとする。

- 1 正 会 員 年額 10,000 円
- 2 特別会員 年額 3,000 円以上

(機関誌の配布)

第 8 条 会員は、京都学園大学健康医療学部紀要の配布を受ける。

(会計年度)

第 9 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(会則の改正)

第 10 条 本会則の改正変更は、正会員の過半数が出席した総会の決議を経て行う。

附 則

本会則は、平成 27 年 6 月 17 日より施行する。

京都学園大学健康医療学部紀要投稿規定

1. 名称と発行

京都学園大学健康医療学部紀要（以下、紀要と略記する）、英文名は、Bulletin of the Faculty of Health and Medical Sciences, Kyoto Gakuen University とし、年1回の発行を原則とする。

2. 編集委員会

紀要の編集ならびに発行を円滑にするために編集委員会を置く。

3. 投稿資格

- (1) 著者は健康医療学部の専任教員、非常勤講師であること。共著者の資格は問わない。
- (2) 著者が(1)以外の共同研究者である場合は、共著者に本学教員を含む。
- (3) その他、健康医療学部研究委員会（以下研究委員会とする）が適任と認めたものであること。

4. 投稿論文の領域

健康医療領域（看護、言語聴覚、健康・医療、体育・スポーツなど）に関するもので、未発表のものとする。

5. 論文の種類

- (1) 総説：特定のテーマについて国内外の文献について包括的考察を行い、その現状と展望を概説し、明確な論点により考察した論文である。
- (2) 原著：学術論文としての構成の完成度が高く、また、その内容が独創性に富み、研究結果に新しい知見がみられる論文である。
- (3) 報告：研究報告、事例報告、実践・活動報告を内容とする学術的に価値のある論文である。
- (4) 資料：健康医療に貢献するデータを有する論文である。

6. 倫理的配慮

- (1) ヒトあるいは動物を対象とする研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。
- (2) 主となる研究者が所属する施設の倫理審査委員会の承認を得ていること。
- (3) 倫理審査委員会での承認番号を投稿原稿内に明記すること。

7. 投稿原稿の採否

原稿の採否は、複数の査読を経て、研究委員会が決定する。投稿原稿は、以下の手順で採否・掲載となる。

- (1) 投稿内容に応じて、学内の教員または学外の適任者から査読者を選定し、研究委員会が依頼する。
- (2) 原稿の採否は、査読所見を付記して、著者に通知する。
- (3) 査読紹介事項に基づいて原稿の修正を行う場合は、旧原稿と査読所見に対する回答書を添えて、研究委員会が指定する期日までに再提出する。期限までに再提出されない場合は、原稿の撤回と見なされる。
- (4) 投稿原稿は返却しない。

8. 著者校正

校正は、2回までとし、校正時の原稿の大幅な変更・追加・削除は認めない。

9. 著作権

論文の著作権は、京都学園大学健康医療学部に属する。

10. 改定

規定の改正が必要な場合は、研究委員会で審議し、教授会の議を経て、学部長がこれを定める。

附 則

1. この規定は、平成27年7月15日から施行する。

京都学園大学健康医療学部紀要執筆要領

I. 表記法

1. 本文は引用文を除き常用漢字、現代仮名づかいとする。
2. 句点は「.」, 読点は「.」とする。
3. 略号および略字は初めてそれが出る箇所で正式の名称に続けて括弧内に記載しておく。
但し慣用句でない略号はなるべく用いない。
4. 原稿には、下段の余白中央に、ページ番号を 1 から順に記入する。

II. 表題、著者名、所属、要旨、キーワード

1 ページ目に、題名、著者名と所属を、2 ページ目に、要旨とキーワードを記す。

1. 表題

- (1) 和文の場合は英文訳を、英文の場合は和文訳を併記する。
- (2) 副題があれば全角マイナス「-」でつなげる。
- (3) 英文表題については、
- (4) 表題の文頭および次に示す品詞の語頭は、大文字にする。
大文字にする品詞：名詞、代名詞、形容詞、動詞（助動詞を含む）、副詞、感嘆詞
次の品詞の語頭は、小文字にする。
小文字にする品詞：冠詞、前置詞、接続詞。

2. 著者名（著者・共著者）と所属

- (1) 著者名は、日本語およびローマ字で記す。
- (2) 複数の著者の場合には、氏名の間に「,」を挿入する。
- (3) 著者の所属は、日本語と英語で表示する。
- (4) 複数の著者の場合には、氏名の右肩に番号を付し、下部に番号に続けてその所属を示す。

3. 要旨

- (1) 要旨は、和文の場合は 400 字以内、英文の場合は 300 語以内とする。
- (2) 要旨は、目的、方法、結果、考察の順に記載する。
- (3) 本文が和文でも、要旨を英文とすることができる。英文要旨には和訳を付ける。

4. キーワード

- (1) 要旨の下に、キーワード（Key words）を、5 語以内で付記する。
- (2) キーワードは、和文原稿の場合は日本語と英語訳を、英文原稿の場合は英語と日本語訳を記す。

III. 本文

1. 本文は A4 版縦置き横書き、余白は上 25 下 35 左 17 右 17mm とする。
2. 印字は 11 ポイントの明朝体とし、20 字×36 行の二段組みに書式設定する。
3. 要旨と本文で 16,000 字程度（約 10 頁）以内とする。なお、図表は A4 版の 1/4 大で 450 字程度に換算するものとする。
4. 見出しは、原則として 12 ポイント、ゴシック体とし、大見出しをローマ数字、中見出しを算用数字「1」、小見出しを「(1)」, 以下、順に「1」, 「①」とする。
それ以外の本文は、明朝体 11 ポイントとする。

IV. 図（写真）および表

1. 図・表は Excel を用い、著者の指示のない限り、本文中に挿入する。
2. 写真は図として掲載する。
3. 図表には、図 1、図 2 のように通し番号をつけ、続けてその図表のタイトルを付ける。図表タイトルの活字の字体の大きさは、なるべく本文と同じとする。
4. 本文が和文であっても、図表のタイトルおよび説明は英文でも構わない。

5. 図表の説明文は、本文を見なくても概要が把握できる程度に記載する。
6. 資料には、出典を明記する。
7. 出典は、図表や資料の説明箇所に示す。
8. 他の著作物から図表を転載する場合には、必要に応じて著者または著作権所有者から使用許可を得ておく。
9. アンケート調査にでは、原則として調査票を資料として添付する。

V. 文献および注釈

1. 文献を引用する場合、もしくは注釈を付けたい場合には、本文に用いる順番で、例に示すように当該箇所の右肩に片括弧で番号を記す。
(文献例) ¹⁾, ²⁵⁾, ^{1, 3, 5)}, ^{1, 3-5, 9)}, (注釈例) ^{注1)}, ^{注2)}
2. 文献は、本文で用いた番号順に一括して記載する。著者が3名までは全員、4名以上の場合は3名の氏名をあげ、4人目以降は省略して「他 (et al.)」とする。
 - (1) 雑誌 著者名：表題、雑誌名、巻(号)：始頁-終頁、西暦発行年
(例1) 手島貴範, 角田直也：身長相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達. 体力科学, 60: 195-205, 2011
(例2) Hauenstein EJ, Marvin RS, Snyder AL, et al.: Stress in parents of children with diabetes mellitus. Diabetes Care, 12(1): 18-23, 1989
 - (2) 単行本 著者名(編者名)：書名, 引用始頁-終頁, 発行所, 西暦発行年
(例1) 鈴木隆雄：講談社現代新書 2138, 超高齢社会の基礎知識, 60-73, 講談社, 2012
 - (3) Katz J, Medwetsky L, Burkard R, et al.: Handbook of clinical audiology (6th ed.). USA Lippincott Williams & Wilkins: 2009
 - (4) 電子文献 著者名：タイトル, 入手年月日, アドレス
(例) 独立行政法人日本スポーツ振興センターホームページ：学校安全 Web, 災害共済給付 (<http://www.jpnssport.go.jp/anzen/saigai/tabid/56/Default.aspx>) 2015.05.31.
3. 注釈は、文献一覧のあとに、本文で用いた順に一括して記載する。

VI. その他

1. 投稿申し込みは、「京都学園大学健康医療学部紀要投稿申し込み書」に記入し健康医療学部紀要編集委員長宛てに提出する。
2. 投稿申し込み締切日は毎年9月末日とする。
3. 投稿原稿締切日については、編集委員会より9月末日以降、著者に連絡する。
4. 紀要投稿者は、投稿原稿の原本の他に、著者名と所属を削除したコピー3部、および原本のデータファイル(図表ファイルも含む)を入れたUSBを紀要編集委員会に提出する。
5. オンライン上での掲載におけるレイアウトは研究委員会に一任する。

編 集 後 記

京都学園大学健康医療学部紀要第 3 号発刊にあたり，論文執筆者と丁寧な査読をしていただいた先生方に深く感謝申し上げます。第 3 号では，原著 1 編，報告 2 編，資料 1 編が掲載されております。

健康医療学部紀要は，本学健康医療学部の教育や研究に関わっている方々に対して，日頃の教育・研究活動を，気楽に論文にまとめて公表して欲しいと願って，学部開学にあわせて創刊しました。情報発信するには非常に優れた媒体になると確信しています。今後とも，皆さまの積極的な投稿をお待ちしています。

（京都学園大学健康医療学部紀要編集委員 木村みさか）

京都学園大学健康医療学部研究会

会 長

運 営 委 員（兼紀要編集委員）

紀要編集委員

久 育男

木村みさか（委員長）

伊豆 一郎

弓削 明子

松平登志正

新里 直美

村田 優子

藤本 美穂

杉島 優子

京都学園大学健康医療学部紀要 第 3 号

2018 年（平成 30 年）3 月 28 日 発行

発行者 京都学園大学健康医療学部研究会

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

組 版 株式会社こだま印刷所

〒604-8455 京都市中京区西ノ京藤ノ木町 16
